

共生センターとスタートした総合的な学習の時間のモデルづくり

自然共生研究センターとの連携をはじめて3年目。「木曽川学習のページ」を立ち上げました。自然共生研究センターの様々な調査結果や調査のノウハウを学校教育に生かしながら河川に関わる学習活動の1つとしての学校・研究所の連携の指針ができあがりつつあります。

専門研究機関との連携は、教育現場においても本物に触れるすばらしい機会となります。それが、実際見に行くことができる距離にあることは最高の環境です。本物に触れてこそ、画像や文字の情報からそのよさを感じとることができます。問題を解決していく中で、ネット上での学習を体験学習に活かす。本研究におけるのメインテーマです。

今回の学習の場は、「総合的な学習の時間」。題して『「ふるさと川島」を伝えよ

う』。川島町は、木曽川に囲まれた町です。そのよさを様々な人に紹介する活動を通して、川島町のよさを理解します。木曽川を中心とする様々な課題の中で、河川の水質・生き物・植物・河川形態等について、実際の観察体験から河川環境を捉えます。

先日、実験河川で魚の採取活動を行いました。時間を忘れ、魚を追いかけ、真剣に観察する児童達。本物に触れることで、自分たちの生活を取り巻く環境を見つめ



スタッフと一緒に魚を捕まえる児童

ようと真剣に取り組んでいました。フィールドの調査を活かし、学校での学習が始まります。興味を持った部分の観察を進める中で、普段目にしない資料や話に目を輝かせます。これこそ、学習の醍醐味を知った姿でしょう。

専門的な知識の交流は、今後不可欠です。学校と専門機関をつなぐ1つの指針となるといいと思います。

[岐阜県羽島郡川島町立川島小学校 埴岡靖司]



捕まえた魚を水槽に入れてスケッチ

INFORMATION & NEWS

ARRCと読者を結ぶ広場

実験河川の活用研究が進められています。

センターでは、開かれた研究施設を目指し、本研究施設を活用した研究の公募が行われています。大学や一般企業等の応募の中から、昨年度は5グループ、今年度は3グループが採用され、研究が進められています。写真は、名古屋工業大学工学部富永教授のグループによる研究の様子です。河川の生物にとって重要な場所となるワンド内の流動や土砂堆積との関係、洪水時のワンドの役割等に関する研究が行われています。

活用研究テーマ	研究テーマ名	氏名	所属及び役職
	自浄作用能力の定量的評価及びメカニズムの解明	小倉紀雄	東京農工大学大学院農学研究科教授
	水位変動が河床内間隙と流路周辺部の生息環境と生物群集に及ぼす影響	谷田一三	大阪府立大学総合科学部自然環境学科教授
	非定常流量下におけるワンドの水交換と土砂堆積に関する研究	富永晃宏	名古屋工業大学工学部社会開発工学科教授
	流水の一次生産の測定に関する研究	村上哲生	名古屋女子大学
	実験河川の流れ及びSSに関するシミュレーションモデルの評価	望月誠美	(株)フコシヤ/P.技術部長
	連接蛇かご工法による周辺植生と昆虫・小動物等の誘致	駒走裕之	日本植生(株)J.U.P.Eプロジェクト
	淡水域昆虫に対する多孔質コンクリートのハビタット形成と洪水後のハビタットの回復性に関する研究	進藤邦雄	共和コンクリート(株)技術研究所所長
	PHABSIMの評価精度に関する実証的研究	須藤達美	(株)アジタ技術センター環境研究部



出水実験時にワンド内の水循環を調べる名古屋工業大学グループ



実験河川周辺の問題

実験河川やその周辺で、特に目につく2つの問題があります。出水実験を行う時、流量の調整以外にも大変な作業があります。それは、ペットボトルやビニール袋等、新境川から配水池に流れ込んでくるものを取り去る作業です。川にゴミを投げ捨てる人がまだ多くいるということは非常に残念なことです。

もう一つは釣り人のマナーの問題です。先日、実験河川では釣り針とテグスに引っかかり、傷ついて衰弱しているアオサギが見つかりました。この辺りの際にはよく捨てられたルアーやテグスが見つかります。釣りを楽しむことは悪いことではありませんが、後片づけはきちんとして欲しいものです。これらの問題は人々の心がけ次第で解決できるものです。



新境川から流れ込んできたゴミ



衰弱したアオサギとひっかかっていた釣り針

自然共生研究センター AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER

〒501-6021 岐阜県羽島郡川島町笠田町官地無番地
Tel 058689-6036 Fax 058689-6039
URL <http://www.pwrj.go.jp/>

自然共生研究センターの英訳は、Aqua Restoration Research Center 略してARRC。この略称の発音が期せずして Noah's ark ノアの方舟と同じになった。

発行:独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター
ARRC NEWS No.3 2001年11月

R100 古紙配合率100%再生紙
を使用しています。



交通のご案内

自動車をご利用の場合
東海北陸自動車道岐阜各務原ICより10分
(研究棟へは河川環境楽園・西口駐車場が便利です)
川島PAより徒歩で来ることができます。

電車をご利用の場合
名鉄新名古屋駅または新岐阜駅から笠松へ笠松駅からタクシーで10分
(笠松駅からの交通はタクシーのみです)